

供覽

軍務局

人事

津川聯隊長日電報

一月二十日
午後三時十五分
青森駐
午後三時十五分
右

筆
榻
版
用

0361

雪中行軍ニテ行儀不明ノ將校ハ少佐山口大尉
興津倉石神成中尉伊藤格明大橋中野
水野少尉鈴木守登三尋軍医永井源吾見習
士官田中令泉ノ十二名

第一課
第二課

陸軍省

筆 榻 版 用

立見師團長宛

林参謀長

電文譯

明治三十九日午後五時四十分
午後六時廿八分着

未夕確報ハ得ザルモ二百九名悉ク凍死セシモノ、如
シ悲惨極マレリ。山口興津、二氏ハ位進階ノ資
格アルヲ以テ大臣ノ稟申セリ

陸 軍 省

0362

陸軍大臣宛

田村少佐

筆 搦 版 用

電報譯

明

三月九日午後

七時四十五分

雪中行軍者、内今迄發見シタル者五名(神威大尉下士
二兵二)ノミ生存者ハ下士一生命ハ黒狀ナキ見込ミ他ハ
皆死亡セリ青森ヨリ田代ハ五里半田茂木野ハ二里
ニシテ死体發見ノ地ハ田茂木野ト田代ノ約中央ナリ
此間ニ村落ナシ搜索隊ハ未ダ田代ニ達スルコト出
来ズ全カラ冬ニシテ搜索中

陸 軍 省

0363

陸軍大臣宛

武谷軍医に

電報澤

一月二十九日午後八時五十分
午後九時十九分着

搜索ハ全聯隊及出民三百ヲ使用シ連絡及運搬ノ爲メ
十五ノ哨所ヲ設ケ本日工兵ニテ田茂木野迄電線ヲ
架設セリ積雪丈餘ニ達シ搜索隊ハ前進困難ニ
シテ今尚ホ死体發見地附近迄達シ得タルノミ
前ヨリ軍医四、下士若干來リ哨所ノ内四所ニ衛
生部員ヲ派遣シ救急ノ準備ヲ爲セリ

筆 搦 版 用

陸 軍 省

0364

陸軍大臣宛

武官軍医に

電報譯

日

一月三十日午前一時三十分
午前二時十分着

筆 榻 版 用

行軍隊ハ廿四日ニ歸ル豫定ナルニ依リ廿四五兩日迄ハトシ
テ田茂木野ニ一部隊ヲ派遣セリ廿五日ニ至ルモ歸營セ
サルニ依リ廿六日搜索隊ヲ出セリ其隊ハ廿六日田茂木
野ヨリ一里程進ミシモ凡雪ノ為メ進ムコトヲ得ズ田
茂木野ニ歸リ廿七日凡雪ヲ冒カシテ進ミ午前一時三名
ヲ発見セリ茲報知ニヨリ廿八日ヨリ全カヲ尽シ搜索ニ從
事ス三十一縣隊ノ一部隊三本木ヨリ田代ニ行軍中廿八
日道ヲ失ヒシモ無事田茂木野ニ達セリ其途中二名
ノ死ヲ発見セリ生存セル下士ノ言ニヨリハ行軍隊

陸 軍 省

0365

ハ世三日田茂木野ヨリ行リコトニ雲風雪ノ為メ路ヲ
失ヒ霧野ニ至リ廿四五兩日田茂木野ト田代ノ間ヲ徧
徨モ遂ニ霧野ニ至リ廿六日以後ノ景況ハ人事不
省ノ爲メ不明ナリト〇察スルニ今後余見スニ生
存シアルコト覺來サカラシク田代ニ遠シ生存ス
ルモノアレハ幸ナリ

陸軍大臣宛

武谷軍医長

筆 榻 版 用

電報譯

一月三十日午後一時三十分

青森県

搜索隊哨所ハ神成大尉薙見地迄出来本日尚ホ
前進ノ著昨日報告セシ外ホ何等薙見ノ報
ナキモ昨日来天氣晴穩本日ハ多分田代ニ達スル
ナラヒ田村少佐今日遭難地ニ向テ出發セリ
今日故郷便ニテ出セリ

陸 軍 省

0367

幸々此方より吾流に接し
 此方より

死後六回ヲ疾見シ先王ト共ニ披露アリ
又易後ノ披云我即中附不死也平何
疾見セリトアリ云々

石田

丁酉年九月廿五日

少要杯書成
西元

卷之六

[illegible]

清

0369

副官

參事官

發付
一月三十一日

后〇五五、
除

年 月 日起案

大臣 濟

總務長官

標

〇

師團長之見中特宛
市廳下軍隊書中川軍
除

0370

此書、以災害ニ遭出シタル報ニ接シ深ク此
 者、不幸ヲ悲シト同時ニ母王存スル幸運ヲ
 祝ス
 遺族ニ對シ同情ヲ表ス

大臣

0371

供覽

参

軍務局

第一

人事局

陸軍大臣宛

電報

一月三十日午後

六時五十分

武谷軍務正

筆 撮 版 用

午後中野中尉以下三十名死体発見シ
ル今報知アリ○田村木野ヨリ先所
テ電話ヲ架設セリ

陸 軍 省

0372

筆 榻 版 用

陸軍大臣宛

武谷軍醫正

電報

一月三十日午後四時三十分發
四時三十分迄

午前九時神威大尉發見地ノ前方約千ノ
一トルノ地ニテ死傷六(内一位長他ノ不助)發見
セリ本口寸ニ多敷ノ死傷發見ノ見込ナル
旨令被知アリ

陸 軍 省

0373

供覽

電

軍務

入

陸軍大臣宛

電報

田村少佐

一月三十一日午前十一時四十五分

田代ノ情况未タ分ラズ既ニ報告セシモノ、外死体
ヲ發見セズ武谷軍醫正奉日遭難地ヲ視察
シ今夜若クハ明朝当地ヲ發シ飯京ノ穩定
ナリ

筆 撮 版 用

陸 軍 省

陸軍省

0374

筆 撮 版 用

陸軍大臣宛

田村少佐

電報

一月三十一日

午後一時廿分東京より

今生存者十二名ヲ発見セリ

陸 軍 省

0375

供覧



才四

筆撮版用

二ノ三

軍務

陸軍大臣宛

田村少佐

山口少佐宛 馬場存心 兵卒二死休一
発見 本 大侯府 不 腹 素 固 難

人事



堀江



陸軍省

0376

筆 撮 版 用

電報譯

二月一日午後七時三十分青森發
九時十分東京著

陸軍大臣宛

田村少佐

生存セル下士ニテ發見ス今迄發見シタル生
存者合計將校三下士三、兵卒六、生存セル將
校ノ言ニ依リ二十六日迄ハ大部ハ斃シタルコト
確實ナリト武谷軍医ニハ明日當地出發歸
京ス

陸 軍 省

0377

筆 搦 版 用

電文傳
一月三十日午後八時四十分着森
子向江崎三十分着東京着

陸軍大臣宛

田村少佐

神威大尉及見地より約六百米の合間ニ爲
名大尉伊藤中尉兵卒二名生存シタルヲ
発見セリ尚ホ他ニ生存者アル見込田代
ヲ捜索セシモノ一人モ達シ在ラズ武谷軍医
正ハ當分富田ニ滞在ス

陸 軍 省

0378

筆 撮 版 用

電文澤 四月三十一日午後四時五十八分青森発
午後五時三十分東京着

陸軍大臣宛

田村少佐

報告せし生存者一二ハ生存兵五十二死体

一〇ノ誤マリ

陸 軍 省

0379

供覧

陸軍省

軍務局

人事局

筆 撮 版 用

電 報 式

電 報 式

陸軍大臣宛

武谷軍務局

昨午後田代本湯にて生存者下士一死俾一
番見下侍従武官(今朝ラシ)遭難地へ
行カル田代少佐随行ス

陸 軍 省

0380

筆 榻 版 用

電文譯

二月二日午後一時

時中五十分青森方面
一時五十分東京方面

陸軍大臣宛

武官軍医正

現在患者十一名中倉石大尉伊藤中尉卒
一ハ輕症山口少佐下士二卒三ハ四指ノ中切
断ヲ卒二ハ一指又ハ二三指ノ切断ヲ要ス
キ見込ナリ本日出発止ル

陸 軍 省

0381

筆 掲 版 用

電報譯

同日

土曜五十五分東京著

陸軍大臣宛

第八師團長

山口少佐午後八時三十分死去ス。本日生存者
特務曹長長谷川貞三一等卒安部壽松二
等卒小野寺佐平同佐々木正教ノ四名ヲ
発見セリ其他目下調査中ナリ

陸 軍 省

0382

筆 撮 版 用

電文譯

二月二日午前十時四十二分着東京
午前十時五十八分東京着

陸軍大臣宛

田村少佐

生存者下士一昨夜死亡ス他ノ生存者ハ助カル見
込更ニ水野中尉鈴木少尉下士卒七ノ死体ヲ
発見ス今迄発見シタル死体ハ將校四下士八
兵卒五十九

陸 軍 省

0383

供覧

陸軍省

人事

筆 撮 版 用

二ノ六

電報譯

二月五日午後一時四十分青森着
二月三十分東京着

陸軍大臣宛

第八師團長

昨日未ノ降雪強風今止ス積雪四尺ヲ増シ
糧食運搬ノ人夫逃ケ且ツ前方哨舎破壊シ
搜索ニ從事ス能ハズ目下ニ搜索隊保護
ニ力ヲ竭シツアリ

陸軍省

0384

筆 搦 版 用

電報譯

二月五日午後三時三十三分
東京より

陸軍大臣宛

田村少佐

風雪烈し、雪四尺、増し哨舎ハ皆破壊セラ
リ搜索隊ハ凍傷患者ヲ生スル且軍況ヤルニ依
リ最前線ノ搜索隊ハ後方ニ引揚ケ其他ハ
哨舎ヲ工兵隊中、目下搜索ニ使用セル兵卒
ハ千六百人大十回百ナリ遁逃セル人夫多ク
目録ノ状態ナリ

陸 軍 省

0385

力
の
四

二
の
あ

筆
撮
版
用

供
覽

電
文
譯

二月四日午前九時五十分着森谷
十時 二分 速電着

陸軍大臣宛

武谷

軍務局

昨夕清水谷東宮御宮東宮より昨夜迄之全見死
体三十七歳初より終計百八昨夜東降雪止マ

第二

人

陸
軍
省

0386

幼七回

筆 堀 版 用

二一五

供覧

電報譯

二月四日午後五時四十二分東京發

陸軍大臣宛

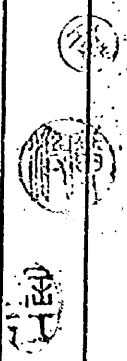
第八師團長

軍務

第二

人事

搜索援助ノ為メ歩兵第三十一聯隊ヨリ士官以下二百九名輸送監視ノ為メ輜重隊ヨリ士官以下十八名ヲ本日當地ニ招致セリ○午後天候陰惡大吹雪トナレリ



陸軍省

0387

電文

陸軍大臣

回村

風雪止ハク搜索ソウソク出來キタ石

0388



陸軍大臣宛

電報譯

二月二日午前九時十五分至九時三十分東京急電

田村少佐

降雪止、石六百本、日來、援、

樂



10



陸軍省

筆
喝
版
用

二

0389

電報記

二月六日午後一時八分東京發
一時四十分東京發

陸軍大臣宛

武谷軍医正

官本侍從武官本月二日四日五日、三回衛成病院來臨
親シク狀度ノ患者ヲ慰問アリ優渥ナル看護ヲ傳ヘラル
患者一同感激ス

清水谷東宮武官昨五日衛成病院ニ來臨親シク狀度ノ
患者ヲ慰問アリ優渥ナル令旨ヲ傳ラレ患者一同感激ス
此ニ糸電報取扱方行遠アリテ電報延引セリ恐
懼ニ堪ヘス

電報譯

明治三十二年八月一日

筆 撮 版 用

陸軍大臣宛

立見第八師團長

本日モ天候尚快復セサル為メ一部分ノ外ハ捜索
ヲ行フ能ハス天候ノ為メ空シク経過スルハ實ニ残
念ナリ。○工兵隊ハ專ラ哨舎ヲ修繕スルハ道路ノ
構築ニ從事セシム。○本日捜索隊増援ノ為メ砲
兵卒百名ヲ招致セリ。○人夫モ縣參事官ノ力
ニ依リ本日ハ希望通り集ムルヲ得リ。○縣大
官ハ現地ニ詰リ切リ度カシキ

陸 軍 省

0391

筆 搦 版 用

電報 二月六日午後一時三十分 東京

陸軍大臣宛 武官軍医正

入院患者二等兵 野市次郎 病状危篤トナ

陸 軍 省

0392

供覽

軍務局

第一課

人事局

陸軍大臣宛

立見第八師團長

電文譯

二月廿日午前十一時
立見第八師團長宛

筆撮版用

九

二八

昨日も遭難者發見に得ス。天候未夕恢復セ

雪益甚量ヲ増セリ搜索隊ニ生シタル患者

約百名上リ然レドモ孰シモ輕症。昨日迄

發見シタル歩兵銃四銃。斃セニ背負袋七

參

清

振

陸軍省

0393

ナ

筆 榻 版 用

二ノナ

供覧

陸軍大臣宛

武谷軍医正

電報

二月七日午後二時廿三分着森元
二時五十分東京着

軍務局

系



人學



小野寺佐平 創面ヨリ、吸収ニ依リ危険症
起セシニ依リ今両手足トモ切斷セリ尚同
シ症ニテ今日中ニ切斷スヘキ者ニ名アリ

堀江

陸軍省

0394

電文

二月七日午後五時四十分東京から
少時止十八分ありき

陸軍大臣宛

立見第八師参長

本日遭難患者中重傷ニ陥リタル一等卒阿部
壽松二等卒佐々木正教同小野吉佐平手術ヲ
行ヒタリ何レモ両手及ヒ両足トモ切斷シタリ又二
等卒紺野市次郎ハ本日死亡セリ

筆 榻 版 用

陸軍省

陸軍省

陸軍省

陸軍省

陸軍省

陸軍省

陸軍省

陸軍省

陸軍省

0396

筆 榻 版 用

電文訳

二月七日午後九時五十九分青森發
十時十五分東京着

陸軍大臣宛

立見卯八師長

今日午前九時マテハ吹雪烈シカリニ為メ
搜索見合セタルモ其後天候稍恢復シ
タルニ依リ搜索ヲ開始シタリサレト發見シタ
ルモノナシ

陸 軍 省

0397

筆 榻 版 用

電文 陸軍大臣宛

二月七日午後五時四十分東京
立見 第八師团长

本日午後三時二十分率小隊在佐平
嶺後病勢増進午後九時四十分死亡セリ

陸 軍 省

0398

供覽

軍務局

人事局

才十

筆 搦 版 用

電文符

二月廿五日 四時十八分 東京 陸軍省 四時三十分 東京 陸軍省

陸軍大臣宛

武谷軍医正

後藤房之助 今午是夕切腹セリ

陸 軍 省

0399

筆 掲 版 用

電文澤

四月八日 午後五時十分 東京 陸軍省

陸軍大臣宛

並見第八師團長

本日ハ天候巨ロシ頗ル見込アル地点ヲ発見シ
大搜索ヲサシアリ大モ使用ニツキアリ

陸 軍 省

0400

筆 榻 版 用

西電文譯

二月八日午後七時三十分音森發
七時四十分音森發

陸軍大臣宛

立見第八師團長

本日午後長後藤居之助、施術ヲ為シ、兩手
兩足共切斷セリ、二時卒、佐々木正教ハ本日
死亡ス

陸 軍 省

0401

筆 搦 版 用

電文譯

三月九日午向六時三十分發
六時三十分東京着

陸軍大臣宛

立見第八師團長

昨日ハ別ニ得ハ所ナシ本日モ天候不良ニシテ搜
索充分ナラズ。凍傷患者伍長三浦武雄ハ両
足ノ股ノ下三分一部。伍長小原忠三郎ハ両手
ノ拇指ヲ除キ他ノ四本ノ指。二等卒後藤惣
助ハ両下脛共中興ヨリ本日切斷セリ

陸 軍 省

0402

筆 榻 版 用

電文譯

五月十四日午前十一時三十分東京發

陸軍大臣宛

立見第八師團長

連日降雪強凡ニテ搜索意ノ如クナラス
晴ノ間ヲ以テ搜索ニ從事シ昨日死体ニ
テ発見姓名未詳ナリ本日モ天候不良

陸軍省

0403

筆 榻 版 用

歩兵第五聯隊雪中行軍遭難者調(二月十日正午調)

一行軍總人員

二百十名

此内

將校	特務曹長	下士	兵卒	姓名未詳	計	右ノ外生死未詳者
三	一	五	八	一	一七	八十三名
一	一	一	三	一	五	
四	一	二三	七七	五	一一〇	

發見セシ生存者

同上ノ内死亡

發見セシ死体

0404

(備考)

表に死亡者官氏名を、如し

二月二日死亡

歩兵少佐山口

銀

二月一日死亡

歩兵隊長高橋房治

二月七日死亡

全二等奉 紺野市次郎

全

全二等奉 小野寺佐平

二月八日死亡

全二等奉 佐々木正毅

0405

供覽

軍務局

人事局

本

筆揭版用

昭和二十一年十一月十二日

電報

陸軍大臣宛

第八師司令部

昨日死体一着見本ハ好天ノ字

訓

陸軍省

陸軍省

陸軍省

陸軍省

0406

筆 榻 版 用

電文譯

明治三十二年四月

四月十六日 東京

陸軍大臣宛

立見第八師團長

本日天候不良十分十九搜索出来不

陸 軍 省

0407

電文

二月十二日午前十二時十三分東京發

陸軍大臣宛

立見第八師参長

本日位長村松文哉ハ西前腕ノ約三名一ノ所ヨリ西足ハ下
腿ノ約上三名一ノ所ヨリ切斷一尋卒及川平助ハ右手
ノ中指環指末節及右手指ノ第二指末節ヲ切り
取り西踵ノ上部切開一尋卒山本徳次郎ハ右足跗
趾ノ末節第二趾ノ前方二節ヲ左足ハ跗趾第二趾
第三趾ノ末節ヲ切り取り且右足内側部ヲ切開セ
リ

陸 軍 省

丁巳

同

午後六時五十二分着在料及死
午後六時五十分着在料及死

立見第八師團長

筆 撮 版 用

二月廿四日

事務所



本日鳴澤第二路營地附近ニテ興津大尉
下士以下十名ノ死体発見セリ此ヒニテ死体
合計百二十三

人事

陸軍省

供覧

軍務局

人事局

筆 榻 版 用

二十五年あ

電文譯

四月十三日午後五時四十分青森縣
六時三十分東京着

陸軍大臣宛

立見第八師團長

本日鳴澤ニテ兵卒死体五發見セリ

陸 軍 省

0410

本

筆 撮

二月七日

電 報 譯

二月十四日午後八時
八時四十分 東京電

陸軍大臣宛

第八師 隊長

供 養

本日降雪甚敷之風無し捜索係、河原

に死体一遺見大々使用セル北通道人、班

約込、溪谷に於て死体四遺見之、死体係

百三十五。侍従武官ハ本日陽京セラレタリ

第一編

人事

省

省

省

陸軍省

0411

あ

供養

軍務局

人事局

ナナ

筆 撮 版 用

昭和二十一年十一月十八日

あ

電報

二月十七日午後九時五十分
陸軍大臣宛
立見第八師長

陸軍大臣宛

立見第八師長

昨日發見スル要ナシ今日ハ禱ナル好天候ナ

第一課

陸 軍 省

0412

筆 搦 版 用

電 報 稿

二月十七日午後六時
支那軍司令部
支那軍司令部
支那軍司令部

陸 軍 大 臣 宛

立見第八師司令部

本日又搜索機鳴澤ノ谷ニ於テ死体二
發見ス

陸 軍 省

0413

供

軍務局

第一

人事

電文譯

陸軍大臣宛

第八師團長

筆 捌 版 用

二二二

三一聯隊ノ半部ハ一昨十七日ヲ以テ。同隊ノ
殘餘及ヒ砲兵隊ハ本日ヲ以テ五聯隊ト交
代歸營セシメ輜重及ヒ工兵ノ一部ハ五聯隊
ト共ニ引續キ現地ニ使用セリ。一昨日以來
天候再々不良

陸 軍 省

0414

供覽 齊

軍務局

第

人事

241

筆 撮 版 用

昭和二年三月五日

電文譯

二月廿三日午後八時三十五分東京發
ハ時四十分東京發

陸軍大臣宛

立見第八師團長

本日田代近平駒込川、水中に於て二等卒
南野長次郎ノ死体ヲ發見ス

陸 軍 省

0415

供覽

軍務

人事

電文譯

二月二十五日午後九時十五分青森発
十時十五分東京着

陸軍大臣宛

立見第八師團長

本日搜索隊ハ郡山ト中野森トノ中間ニ於テ他
長瀬川庄助大瀧ニ近キ駒込川ノ谷ニ於テ銃
劔三、第二露営地ニ銃二、銃劔一、背囊一、發
見セリ

筆揃版用

換二二七七
日初

0416

陸軍省

供覽

軍務局

人部局

第一



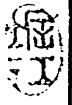
電報譯

二月廿七日午後七時四十分
東京電

陸軍大臣宛

立見第八師團長

本日二等卒白鳥新兵衛外姓名未詳者
一死体並見ス



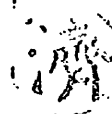
陸軍省

20

筆 撮 版 用

0417

供
賜



軍務局

第

人事局

電文譯

二月二十八日午後

八時三十分發
時四十分著

陸軍大臣宛

立見師團長

21

筆
撮
版
用

昭和三月二日あ

本日蹟ノ河原ノ東方ニ於テ兵卒ノ死体
一、ジャノキノ澤ニ於テ伍長ノ死体一ヲ發
見ス但シ姓名未詳

陸軍省

0418

供覽

軍務局

人事局

步兵第五聯隊雪中行軍遭難者調

(三月四日午前調)

一行軍總人員 貳百十名

此内

將校	特務曹長	下士	兵卒	計
3	1	5	8	17
1	1	1	3	5
5	2	3	7	146
1	1	1	3	5

右ノ外未夕發見セザル者

四十七名

筆 撮 版 用

0419

備考

生存者ノ内死亡シタルモノ。官氏名左ノ如シ

歩兵少佐 山口 銀

歩兵伍長 高橋 房治

歩兵二等卒 佐々木 正毅

全 紺野 市次郎

全 小野 寺佐平

0420

供覽

軍務局

人事局

陸軍大臣宛

電報譯

三月三日午後七時三十九分東京發
七時五十二分東京着

立見第八師團長

本日親不知ノ附近川ノ畔ニテ特務曹長一
下士一、卒二、成淳ノ瀧ノ下ニテ下士一、計五ノ
倅ヲ發見ス姓名未詳

ニテ

筆・揃 版 用

三ノ五初

陸軍省

0421

供

軍務局

人事

電文譯

三月九日午後零時

主計長青少休

陸軍大臣

立見第八師團長

河川搜索隊ハ大瀧附近ニ於テ少尉一急兵

卒一死体ヲ発見セリ

第一



陸軍省

筆欄版用

三ノ上

0422

他
電文譯
三月九日午後七時
八時七分東京着

陸軍大臣

立見第八師團長

軍務局

午後桜ノ木森ノ南方斜面ニ於テ死体三ヲ
発見セリ午前ノ少尉ハ今泉三太郎ナリ



堀江

人事局

陸軍省

筆
撮
版
用

三
上
あ

0423

供覽

電文譯

三月十八日 午前十一時五十八分 青森發
午後十一時八分 東京著

陸軍大臣

津川聯隊長

馬立場西南方ニテ永井軍医ノ死体ヲ
発見セリ



陸軍省

筆撮版用

0424

電文譯

三月五日午後

九時十八分
東京森著

陸軍大臣

歩兵第五聯隊長

凍傷患者伍長三浦武雄十四日午後七時
五十分死去セリ

筆 撮 版 用

陸 軍 省

0425

供覽



電文譯

三月十九日午後三時

三時三十分東京局

陸軍大臣宛

津川聯隊長

大崩落小屋ノ西方ニラ兵卒ノ死体一ヲ
發見セリ



筆 搦 版 用

陸 軍 省

0426

筆 撮 版 用

電文譯

三月廿一日午前九時四十七分青森県
十時東京着

陸軍大臣宛

津川聯隊長

特別搜索隊ハ大瀧附近ニテ死体ニラ
見ス

陸 軍 省

0427

電文譯

三月廿一日午前

十時四十分青森発
十時五十二分東京着

陸軍大臣宛

津川聯隊長

中野森南斜面ニテ今井特務曹長及ヒ兵卒
三名ノ死体ヲ發見セリ

陸軍省

筆揃版用

0428

電文譯

三月廿一日午後

二時十七分
東京森為

陸軍大臣宛

津川縣隊長

中野森南方斜面ニテ死体一ツ発見ス
又発見ノ死体七

陸軍省

筆搦版用

0429

供覽



電報

三月廿七日午前十時
四十八分

陸軍大臣宛

津川聯隊長

鳴澤露臺地ノ西方約二千米突ノ処ニ
於テ死体二ツ發見ス

筆搦版用

陸軍省

0430

筆 撮 版 用

電 報 沃

三月廿七日午前十一時五十九分發
午後零時十五分受

陸 軍 大 臣 宛

津 川 聯 隊 長

今又同地（鳴澤手）附近にて死体一ヲ發
見ス此レニテ發見死体三、共ニ兵卒ナリ

陸 軍 省

0431

供

別冊ハ當隊遭難、顛末ヲ録シ去三言ノ

祭典ニ於テ著ク遺族ハ分國致候モ有之

御參考トシテ一部及御贈附候ヤ

明治三十二年七月廿一

人事第二課

步兵第五聯隊

海軍省

御中

醫務局

別冊ハ別ニ呈上ス
記銘

明治三十二年八月八日

明

安達印

0432